

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

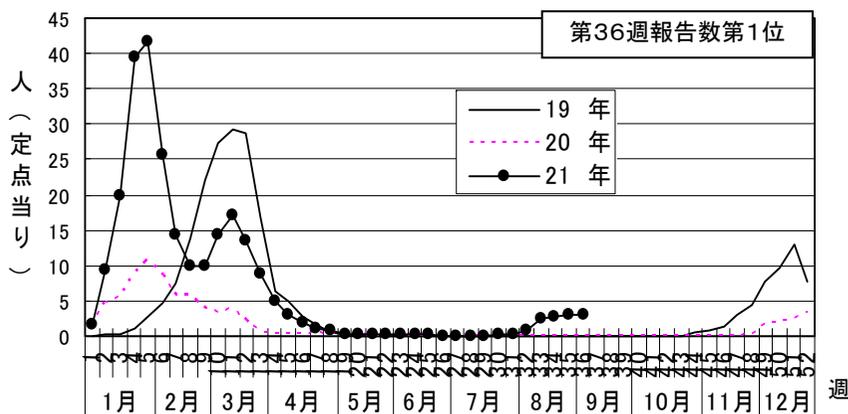


KAWASAKI CITY

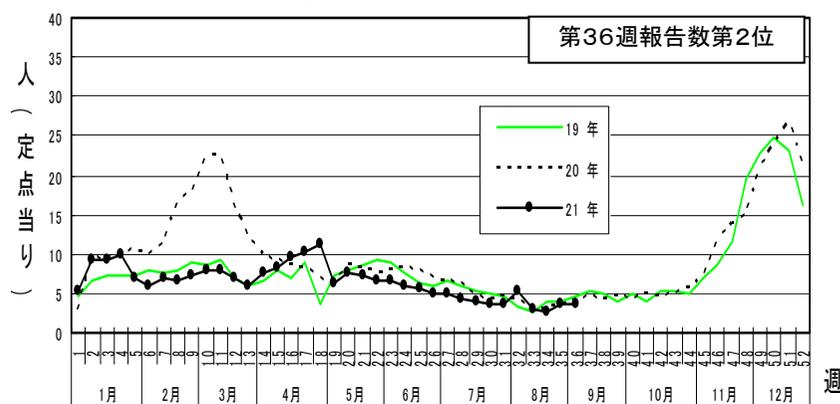
平成21年8月31日（月）～9月6日（日）〔平成21年第36週〕の感染症発生状況

第36週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) ヘルパンギーナの順となっています。インフルエンザの報告数がわずかに減少しましたが例年より非常に多い状況です。学級閉鎖などの臨時休業も増えていますので、引き続き今後の発生動向には注意が必要です。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザかな？



熱とせきがあります。

病院を受診する必要がありますか？

必ず受診しなくてはならないわけではありません。症状が比較的軽く、自宅にある常備薬などで療養できる方は、診療所や病院に行く必要はありません。

ただし、持病のある方や妊婦など、重症化するリスクのある方はなるべく早めに医師に相談しましょう。



こんな症状には要注意！

インフルエンザ脳症の早期の症状として注意しなくてはならない以下の症状がみられた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザ様症状（発熱など）に加え

- 呼びかけにこたえないなどの意識レベルの低下
- けいれんが続く、繰り返すなどの意識障害が続く
- 意味不明の言動がみられる



《解熱剤の使い方に気をつけましょう》

安易な解熱剤の使用は悪化させることがあります。解熱剤を使うときは、必ずかかりつけの医師に相談してから使いましょう。